

## 変更契約の調書

工 事 名 南陽市公共下水道 汚水管渠布設替工事

当初

工 事 場 所 南陽市 宮内 地内  
 請 負 業 者 名 侑和建設株式会社  
 工 事 種 別 土木一式工事  
 工 事 概 要 汚水管渠工 1式 漆山処理分区枝線 管路番号:4  
 管路施設延長 L=16.00m 開削工法  
 契 約 金 額 3,641,000 円 (消費税及び地方消費税を含む。)  
 工 期 着工 令和6年7月8日  
 完成 令和6年9月17日

第1回変更

変 更 年 月 日 令和6年9月13日  
 契約金額(変更後) 4,863,100円 (消費税及び地方消費税を含む。)  
 工 期 完成 令和6年9月17日  
 変 更 理 由

## 1. 管渠工

現地調査の結果、既設本管布設時の埋戻土(山土砂)の含水量が多く、地下水位も高いことから、液状化が生じ揚圧力が既設管に働き逆勾配となっていた。

本管布設替に伴い、管基礎材及び埋戻材を液状化対策としてクラッシュラン(C-40)に変更し、併せて管種を管基礎材に適したリブ付き硬質塩化ビニル管に変更し実施したい。

	当初	変更
管路土工 埋戻工(保護砂)	V=5.0m <sup>3</sup>	V= 0 m <sup>3</sup> (V=5.0m <sup>3</sup> 減)
埋戻工(山土砂)	V=45.6m <sup>3</sup>	V= 0 m <sup>3</sup> (V=45.6m <sup>3</sup> 減)
埋戻工(C-40)	V= - m <sup>3</sup>	V=52.7m <sup>3</sup> (V=52.7m <sup>3</sup> 増)
管基礎工 砂基礎工(保護砂)	V=1.8m <sup>3</sup>	V= 0 m <sup>3</sup> (V=1.8m <sup>3</sup> 減)
砕石基礎工(C-40)	V= - m <sup>3</sup>	V=1.8m <sup>3</sup> (V=1.8m <sup>3</sup> 増)
管布設工 VU管 φ 200mm	L=16.00m	L= 0 m (L=16.00m 減)
PRP管 φ 200mm	L= - m	L=16.00m (L=16.00m 増)

## 2. 取付管およびます工

当初設計では、本管布設替の開削部で既設取付管の立ち上がり管のみを再接続する計画であったが、既設取付管に液状化の揚圧力による破損が見受けられたため、既設取付管も布設替する設計に変更し実施したい。

## 3. 付帯工

地下水位が高いことにより土留め材の隙間から土砂流出があり、路面への影響が顕著に表れたことから、今後の安全な通行を確保するため、車道全幅を舗装打ち換えする設計に変更し実施したい。

	当初	変更
下層路盤工(RC-40)	A=18.1m <sup>2</sup>	A=25.0m <sup>2</sup> (A=6.9m <sup>2</sup> 増)
上層路盤工(M-40)	A=32.5m <sup>2</sup>	A=36.3m <sup>2</sup> (A=3.8m <sup>2</sup> 増)
表層工(再生密粒度AS13F)	A=38.4m <sup>2</sup>	A=87.2m <sup>2</sup> (A=48.8m <sup>2</sup> 増)
不陸整正(補足材なし)	A= - m <sup>2</sup>	A=54.9m <sup>2</sup> (A=54.9m <sup>2</sup> 増)

## 4. その他、現地に適合するような軽微な変更を実施したい。